

はじめに

大学教育センター長・FD 委員会委員長

横田 佳之



本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が残るなか、昨年度の「オンライン授業」導入における経験を踏まえ、ICTを活用した「新しい対面授業」を可能な限り実施する方針となりました。知識教授の一部をオンデマンド型に移行し、対面授業では教員・学生のコミュニケーションを重視するとともに、ICT等を活用して学生へのフィードバックを強化する「新しい対面授業」は、未だ試行錯誤の段階ではありますが、今後着実に充実させていく必要があると考えております。来年度については、感染防止対策を講じたうえで、原則として「新しい対面授業」を実施する予定です。

さて、本年度のFD 委員会は、昨年度に引き続き、各部局の実情や特色に応じた教育の質保証及び学修成果の把握・可視化を目的として、「部局 FD 活動の推進～ 学生の成長に繋がる学修成果のアセスメントに向けて」を年間テーマに掲げております。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、部局 FD 活動の中心となる部局 FD セミナー及び専門教育科目の授業改善アンケートを満足に実施することができませんでしたが、今年度に関しては、人文社会学部 2 件、都市環境学部 1 件、システムデザイン学部 1 件、健康福祉学部 2 件の部局 FD セミナーが開催されているとともに、専門教育科目の授業改善アンケートについても、ほとんどの部局で再開されていることをご報告いたします。

全学 FD 活動に関しては、4 月と 10 月の新任教員 FD 研修・教育力向上 FD セミナー、6 月の FD セミナー「学生の深い学びに繋がる『新しい対面授業』」、10 月の FD・SD セミナー「ともにつくろう！都立大の新しい学び ～大学の学びと、社会での学び～」を着実に実施することができました。6 月に実施した FD セミナーでは、昨年度反響のあった、本学教員による授業事例の紹介及び学生との意見交換会を実施することで「新しい対面授業」の充実を図るとともに、10 月に実施した FD・SD セミナーでは、企業の採用担当者と本学卒業生による講演及び卒業生・修了生に対する就業状況調査報告により、大学での学びを新しい視点で捉える機会を提供しました。また、全学共通科目の授業評価アンケートや卒業時の学修成果アンケートのオンライン実施も定着しつつありますが、課題となっている回収率を向上させるため、授業内や学位授与式内での実施を呼びかける等の取り組みを進めております。

来年度以降も、東京都立大学 FD 委員会として、「新しい対面授業」を支える全学的な FD セミナー、アクティブ・ラーニング関連セミナー、TA 活用支援及び各種アンケートを企画・実施していくと同時に、部局 FD セミナーをより一層充実させるための支援や、学生の視点を取り入れた FD 活動のさらなる充実等、よりきめ細かい活動を展開していく予定です。学生自身が目標を意識しつつ主体的に学修し、その成果を適切に評価し、さらに必要な学びに踏み出していく自律的な学修者となることを目標に、学生や教職員に過度な負担をかけない教育体制を構築していく所存です。

(ぜひ、東京都立大学 FD 委員会 HP もご覧ください：<https://www.comp.tmu.ac.jp/FD/>)

クロスロード第 21 号

目 次

はじめに

I. 巻頭特集 F D セミナー開催報告

授業事例発表①	4
西島 壮 (大学教育センター 准教授)	
授業事例発表②	7
角野 秀一 (理学部物理学科 教授)	
授業事例発表③	10
木田 直人 (人文社会学部人文学科 准教授)	
学生との意見交換会	13
進行: 松田 岳士 (大学教育センター 教授)	

II. セミナー・研修開催報告

F D ・ S D セミナー開催報告	23
新任教員研修	41
教育力向上 F D セミナー	42
T A 初任者研修・T A スキルアップセッション	51

III. アンケート実施報告

卒業時の学修成果等アンケート実施報告	55
--------------------------	----

IV. 活動報告

部局 F D 活動報告	63
ベスト・ティーチング・アワード・教育改革推進事業取組紹介	75
F D 委員会活動記録	81